

自ら考え 挑戦し続ける子どもを育てます

～チャレンジ桜井～



令和5年11月30日 No.487

横浜市立桜井小学校



「本物」を「生」で体験し 感動できる機会を

校長 金子 祐治

インフルエンザが依然として市内で流行しています。本校でも波はありますが、感染者が途絶えることはありません。今後はノロウイルスやO157などの流行も懸念されます。感染予防のため、学校でも家でも手洗いやうがいなどを行い、健康管理には十分気を付けていきましょう。

さて、横浜市では、教育委員会や小学校長会が主催する小学生のための「芸術鑑賞会」（心の教育）が行われています。4年生を対象に関内ホールでチャイコフスキー記念東京バレエ団による「バレエ」、5年生を対象に横浜みなとみらいホールで神奈川フィルハーモニー管弦楽団による「コンサート」、6年生を対象に神奈川県民ホールで劇団四季による「ミュージカル」が毎年実施されています。バレエとミュージカルは、日程と会場の関係で抽選となっていますが、桜井小学校は今年度運よく？見事？抽選に当たり、3学年とも実施が可能になりました！（バレエは1月実施の予定です）日頃なかなか鑑賞や観劇をする機会はありませんが、やはりプロの演奏、歌や踊りを、素晴らしい会場やホールで体験できることは、間違いなく子どもたちにとって大切な経験、よい機会だと思います。

先日、6年生と一緒に劇団四季の「ジョン万次郎の夢」を県民ホールに観に行きました。開演前に周りの友達と話をしていた子どもたちも、開演後はステージで繰り広げられる歌や踊り、台詞の言い回しや身体表現の迫りに圧倒され、静まりかえり食い入るように見ていました。最後に行われた出演者によるカーテンコール時の大きな拍手、鳴りやまない拍手が、子どもたちの感動の大きさを物語っていました。

学校でも「プロ」の方を招いて様々な「出前授業」を行ったり、校外学習で現地に行って「プロ」の方のお話を伺ったりしています。また、PTA役員の皆様のご尽力で、本校の体育館で全学年の芸術鑑賞会も予定されています。芸術に関する分野は、内容によっては、それぞれ興味のあるなしは分かれることもあるかもしれませんが、「本物にふれる」経験は、子どもたちの五感を刺激し、心に残っていくものだと思います。最近はインターネットなどを利用して、学校や家でもすぐにその場で演奏、演劇、公演などの映像を見ることが可能になりましたが、やっぱり「プロ」の姿を「生」で見ることに勝るものはありません。

その場でしか味わうこと、感じる事が出来ないよさがあります。「感性を磨くことで心豊かに生きていこうとする資質や能力を育む」ことを目指して、「本物」と出会う体験、「本物」にふれる体験を教育活動に取り入れていきます。これからも、桜井っ子の豊かな心の育成を目指します。



劇団四季のミュージカルを鑑賞